

# リズムを活用した 剣道授業用学習教材の開発

最終更新日：2018年4月27日

【プロジェクト代表者】  
保健体育講座  
准教授  
本多 壮太郎

キーワード 剣道授業, リズム, 学習教材

## プロジェクトの内容 (目的・方法・結果と意義)

本プロジェクトは、中学校体育の剣道において、基本動作を効果的、効率的に学習者に身に付けさせていくため、リズムを活用した学習教材を作成し、実際の中学校現場での授業実践を通してその有効性を検討したものです。

基本動作(中段の構えからの送り足による面打撃、胴打撃)を以下に示す8つの動きに分け、それぞれの動作を1～8のリズムで学んでいきます。

- |   |  |
|---|--|
| 1. 左足で床を押す勢いで右足を一步前に踏み出す(面・胴)             | 2. 竹刀を振り上げながら左足を引きつける(面・胴)               |
| 3. 右足を踏み出して鼻の高さまで竹刀を振り下ろして、左足を素早く引き付ける(面) | 4. 左足で「グッ!」と床を押しながら送り足で一步進む(面)           |
| 3. 右足をやや斜めに踏み出しながら相手の右胴を打ち左足を素早く引き付ける(胴)  | 4. 両腕・手の力を抜いて左足で「グッ!」と床を押しながら送り足で一步進む(胴) |
| 5. 勢いを落とさないようにしてスムーズにもう一步進む(面・胴)          | 6. 右足をもう一步踏み出すとともに軸足にして振り返る(面・胴)         |
| 7. 左足を着地させる(面・胴)                          | 8. 中段に構える                                |

中学校2年生の剣道初心者37名(男子19名、女子18名)を対象とした6回の授業実践では、この方法を用いることで対象者の基本動作が飛躍的に向上しました。毎回の授業の形成的評価の結果からは、対象者より「成果」「意欲・関心」「(自主的な)学び方」「協力」に関する肯定的な評価が得られました。

これらの成果を受け、教師向け指導支援動画資料を作成しました。

## 成果の応用可能性 (私たちの活動の成果は、このような分野にこのように貢献することができます。)

リズムを活用することで期待される成果と意義は以下の通りです。

- 剣道が苦手な教員でも、初心者に短期間で基本動作を身に付けさせることができます。
- 基本動作だけでなく基本となる技も身に付けさせることができます。
- 自己評価や他者評価が可能となり、明確な課題意識とともに活動に取り組むことができます。
- リズムを応用することで他種目においても基本となる動きを身に付けさせることができます。

\* 指導支援動画資料に興味のある方は、[shonda@fukuoka-edu.ac.jp](mailto:shonda@fukuoka-edu.ac.jp) にご連絡ください。

## このプロジェクトの形成に寄与した制度等

平成29年度福岡教育大学研究推進支援プロジェクト経費

## プロジェクト構成員 (所属・職名・氏名・役割分担)

- ・福岡教育大学教育学部・保健体育講座・准教授・本多壮太郎  
研究総括・研究計画立案、教材作成、データ分析、考察
- ・福岡教育大学附属福岡中学校・保健体育科・教諭・高辻真一  
授業実践、データ収集